

# 血栓ギトギト症例。どうする？ PIT

広島市立北部医療センター 安佐市民病院 | 松井翔吾

多量血栓を伴う急性心筋梗塞（血栓ギトギト症例）において、PCI中のslow flow現象を予防するために様々なデバイスが使用されている。血栓ギトギト症例に対してPulse Infusion Thrombolysis (PIT)を使用した症例を提示し、PITの適応となる症例や有効性に対して概説する。

In acute myocardial infarction with massive thrombus burden, various devices have been utilized during percutaneous coronary intervention (PCI) to prevent slow flow phenomenon. We present a case in which pulse infusion thrombolysis (PIT) was employed for thrombus-laden lesions and provide an overview of indications and efficacy of PIT.

## はじめに

急性心筋梗塞に対するprimary PCIの有効性は確立している<sup>1-2)</sup>。一方でPCI中のslow flow現象等の再灌流障害は、現代においても大きな課題である。急性心筋梗塞におけるslow flow現象の一因として血栓の飛散による末梢微小循環障害が挙げられる。多量の血栓を伴う急性心筋梗塞（血栓ギトギト症例）に対するPCIをいかに行うかという命題は、PCIに伴うslow flow現象、no reflow 現象をいかにコントロールするかということと同義であり、安定狭心症とは異なるストラテジーを構築する必要がある。多量血栓を有する急性心筋梗塞症例において、いかにslow flow現象を予防するかという目的の下で各々の施設・術者により多種多様なデバイスを用いたオーダーメイドPCIが行われている。

本稿では、多量の血栓を伴う急性心筋

梗塞（血栓ギトギト症例）に対してPulse Infusion Thrombolysis (PIT)を使用した症例を提示し、PITの適応となる症例や有効性に対して概説する。

## 症例

**患者：**65歳、男性

**主訴：**胸部圧迫感

**既往歴：**高血圧症、脂質異常症

**内服薬：**特記事項なし

**冠危険因子：**高血圧症(+)、糖尿病(+)、脂質異常症(+)、喫煙(Current smoker、1日20本×45年間)、家族歴(-)

**現病歴：**3日前に仕事(トラック運転手)で冷蔵庫を運搬中に胸部圧迫感を自覚した。その後から倦怠感と食欲低下が続いた後に受診した。

**入院時現症：**身長157cm、体重61.7kg、BMI25.0、血圧114/81mmHg、脈拍85回/分・整、呼吸数12回/分。胸部圧迫感

が持続。心音：I/II音 正常、III/IV音聴取せず、心雑音なし。呼吸音：清・左右差なし。両側下腿浮腫なし。

**来院時心電図(図1)：**心拍数85回/分、洞調律、II・III・aVF・V6誘導でST上昇とQ波を認める。

**経胸壁心臓超音波検査：**左室壁運動は下壁領域において壁運動低下を認める。その他の壁運動は良好。有意な弁膜症およびシャント血流なし。心嚢水貯留なし。右室拡大は認めない。

**検査成績：**(入院時採血) WBC 18420/ $\mu$ l、RBC 433 $\times$ 104/ $\mu$ l、Hgb 14.6g/dl、血小板 21.4 $\times$ 104/ $\mu$ l、TP 6.5g/dl、Alb 3.3g/dl、Total bilirubin 1.1mg/dl、AST 181U/l、ALT 53U/l、LDH 1060U/l、UA 5.7mg/dl、BUN 23mg/dl、Creatinine 0.94mg/dl、CPK 1101U/l、CK-MB 45U/l、Na 129mmol/l、K 4.1mmol/l、Cl 96mmol/l、CRP 10.5mg/dl、Total cholesterol (T-cho) 215mg/dl、HDL-cho 58mg/dl、LDL-C 128mg/dl、TG 77mg/dl、血糖 160mg/